



5日目—寛容

ルカ 23 : 26—43

執り成しの祈りのヒント

神の命じられることはすべて、神ご自身が実現なさることを覚えましょう。
ほかの約束についても同じように祈り求めましょう。

- ▶ 自分を変える力を与えてくださる神を賛美しましょう。
「武力によらず、権力によらず／ただわが霊によって、と万軍の主は言われる」
(ゼカリヤ 4 : 6b)
- ▶ わたしたちに対して寛容でいてくださる神を賛美しましょう。
「ある人たちは、遅いと考えているようですが、主は約束の実現を遅らせておられるのでは
ありません。そうではなく、一人も滅びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたのために
忍耐しておられるのです」(Ⅱペトロ 3 : 9)
- ▶ ご自身に望みをおくものを、決して失望させられない神を賛美しましょう。
「主に望みをおく人は新たな力を得／鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩
いても疲れない」(イザヤ 40 : 31)
- ▶ どうすれば寛容でいられるのかを、神が教えてくださるよう、祈りましょう。
「沈黙して主に向かい、主を待ち焦がれよ。繁栄の道を行く者や／悪だくみをする者のこと
でいら立つな。怒りを解き、憤りを捨てよ。自分も悪事を謀ろうと、いら立つてはならない」
(詩編 37 : 7—8)
「そして、神の栄光の力に従い、あらゆる力によって強められ、どんなことも根気強く耐え忍
ぶように。喜びをもって」(コロサイ 1 : 11)
- ▶ 善をもって悪に報いることを、神に教えていただきましょう。善をもって悪に報いる必要のあ
る具体的な事गराについて、祈りましょう。
「だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うように心がけなさい。できれば、

せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らさなさい。愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。『「復讐はわたしのすること、わたしが報復する」と主は言われる』と書いてあります。『あなたの敵が飢えていたら食べさせ、渴いていたら飲ませよ。そうすれば、燃える炭火を彼の頭に積むことになる。』悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい」(ローマ 12 : 17—21)

- ▶ 神のみ旨のうちに起こる試練は、わたしたちに寛容を学ばせるための手段であると考えられることができるよう、神に助けを求めましょう。もし、実際にそのような試練の中にあるのなら、特にそのことのために祈りましょう。

「わたしの兄弟たち、いろいろな試練に出会うときは、この上ない喜びと思いなさい。信仰が試されることで忍耐が生じると、あなたがたは知っています」(ヤコブ 1 : 2—3)

「だから、わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの『外なる人』は衰えていくとしても、わたしたちの『内なる人』は日々新たにされていきます。わたしたちの一時の軽い艱難は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます」

(Ⅱコリント 4 : 16—17)

- ▶ あなたに対して不当な扱いをする人たちのための祈りを忘れることがないように、神に助けを求めましょう。

「あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい」(コロサイ 3 : 12—13a)

- ▶ 試練の中にある人のことを覚え、神が彼らに寛容を教えてください祈りましょう。

「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています」(ローマ 8 : 28)

- ▶ 世界中の教会と機関が、神の言葉と謙遜な祈り、聖霊の力、教会の方針と活動への敬意、教会の使命達成のための全き献身に基づいて、一致することができるよう祈りましょう。神の導きに従う上で、また、教会として一つの決定を下していくにあたって、わたしたちが一致し、生活のうちに謙遜が与えられるよう、祈りましょう。

「さて、兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストの名によってあなたがたに勧告します。皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい」(Ⅰコリント 1 : 10)

- ▶ わたしたちの教会の伝道の働きにおいて、教会・教育・機関の三分野が強く協調し、一致していくことができるよう、祈りましょう。

「互いに愛と善行に励むように心がけ、ある人たちの習慣に倣って集会を怠ったりせず、むしろ励まし合いましょう。かの日が近づいているのをあなたがたは知っているのですから、ます

ます励まし合おうではありませんか」(ヘブライ 10 : 24—25)

- ▶ 三天使のメッセージを、今日の多忙な人々に独創的・斬新な形で伝えるため、ソーシャル・メディアを適切に用いていくことができるよう、祈りましょう。

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである」(ヨハネ 15 : 5)

- ▶ 都市伝道のために

北アメリカ支部と、その宣教対象都市のために祈りましょう。

ニューヨーク (ニューヨーク州)、カルガリー (カナダ)、インディアナポリス (インディアナ州)、セントルイス (ミズーリ州)、シアトル (ワシントン州)、サンフランシスコ (カリフォルニア州)、オークランド (カリフォルニア州)、タンパ (フロリダ州)、オクラホマシティ (オクラホマ州)

北アジア太平洋支部と、その宣教対象都市のために祈りましょう。

全日本 15 (日本)、テグ (韓国)、テジョン (韓国)、ムジャク (中国)、ウランバートル (モンゴル)

神の霊がこれらの都市で力強く働かれるよう祈りましょう。

「武力によらず、権力によらず／ただわが霊によって、と万軍の主は言われる」

(ゼカリヤ 4 : 6b)

- ▶ 個人的な必要など、心のうちにあることについて祈りましょう。

「わたしの神は、御自分の栄光の富に応じて、キリスト・イエスによって、あなたがたに必要なものをすべて満たしてくださいます」(フィリピ 4 : 19)

- ▶ 道が見えなくなる時も、数えきれないほどの方法を用意し、祈りに応えてくださる神を賛美しましょう。

「主は太陽、盾。神は恵み、栄光。完全な道を歩く人に主は与え／良いものを拒もうとはなさいません」(詩編 84 : 12 [口語訳 84 : 11])

祈りの時間の終わりに、祈りのリストにある 7 人のために、2～3 人のグループで祈りましょう。神が彼らに寛容を教えてください祈りましょう。彼らのために、コロサイ 1 章 11 節を心に留めましょう。「そして、神の栄光の力に従い、あらゆる力によって強められ、どんなことも根気強く耐え忍ぶように。喜びをもって」。もし、大人数で共有することがためられる祈りの課題があれば、パートナーにそれを打ち明け、祈り合いましょう。

讚美歌 「なしたまえみ旨を」 (希望の讚美歌 362 番)

「イエス君イエス君」 (希望の讚美歌 358 番)

「いともよきものを」 (希望の讃美歌 149 番)

「ああうれしわが身も」 (希望の讃美歌 214 番)

寛容に関するエレン・G・ホワイトの言葉

「霊の結ぶ実は…寛容…です」(ガラテヤ 5 : 22)

「愛は、キリストの王国における律法です。主は、より高い標準に達するようにと、すべての者を招いておられます。主の民の生涯には、愛と柔和、寛容とが見られます。寛容はいくばくかのことに、いや、確かに多くのことに耐え、言葉や行いによって報復することを求めません。

『寛容』は、悪意に耐えること、忍耐のことです。もしあなたが寛容であるなら、兄弟あるいは姉妹が犯したと思われる間違いや過ちに関する情報を、他人に明かしたりすることはありません。その人もキリストの血によって買い取られたのですから、あなたは彼らを助け、救いたいと思うでしょう。『兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる』。『兄弟たち、万一だれかが不注意にも何かの罪に陥ったなら、“霊”に導かれて生きているあなたがたは、そういう人を柔和な心で正しい道に立ち帰らせなさい。あなた自身も誘惑されないように、自分に気をつけなさい』。寛容であるとは、悲観的になったり、嘆いたりしないこと、また、不機嫌であったり、薄情であったりしないことであり、これらとは全く反対の心をもつことなのです」(My Life Today, p. 52)

「わたしたちの生涯に影響を与えるかたちで、イエスの愛がもたらされる必要があります。その愛は、わたしたちの心と品性を柔らかく、穏やかにするでしょう。それはまた、害を加える兄弟姉妹に対してさえも、赦しを与えるようにとわたしたちを促すでしょう。神よりの愛は、他者に対する優しい言葉と親切な行動として、わたしたちの心からわき出てくるはずで、これらの良い行いの実は、品性というぶどうの木において、豊かな房となるでしょう。『霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です』(Review and Herald, Nov. 16, 1886, par. 10)

「全ての人と平和に過ごすよう努めなさい。そして、あなたのもっている雰囲気や優しさを優しく、香り良きものとしなさい。主は、口から発せられたすべての賢明でない言葉をお聞きになります。もし、自分中心という人間的な性質に立ち向かうのであれば、生まれながらの、あるいは習慣となった悪への傾向にうち勝つための努力をするとき、力強く前進することができます。忍耐と寛容、自制を通して、多くのことを成しとげることができるのです。他人の軽率な言葉によってあなたが失墜することはありえません。しかし、その言葉に対して賢明でない応答をするとき、あなたは手にすることのできた勝利を失うことになるのです。言葉に気をつけなさい。自制と無我の心は、キリストによって新しい命へと生まれ変わった者たちの、言葉と行いを特徴づけるものなのです」

(My Life Today, p. 52).

個人的な考察のための質問

1. 誰かに害を与えられた時、その人に対して仕返しをするのが当然のことになっていませんか。もし、誰かにひどい仕打ちを受けた場合、どのように反応しますか。寛容でいる方法を、神に祈り求めましょう。神の約束を自分のこととして考えましょう。
2. わざとあなたのことを不快にさせるような人はいますか。そのような人たちに対して、忍耐、愛、赦しをもって接することができるよう、また、神の愛をしめすことができるよう、助けを祈り求めましょう。